

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2024No.359】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

曲名：クラリネット五重奏曲イ長調 K. 581

演奏：ベルリンフィル団員

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55708>

2024年11月24日小ホールでの演奏です。

ベルリンフィルの室内楽：クラリネットの魅力

クラリネット奏者アントン・シュタドラーは、音楽界に大きな貢献をしたと言えるでしょう。彼はモーツァルトに室内楽の中で最も美しい作品のひとつだと言えるクラリネット五重奏曲を作曲させたのです。今シーズンのコンポーザー・イン・レジデンスであるヴォルフガング・リームは、クラリネット奏者であり作曲家でもあるイェルク・ヴィトマンのために《クラリネット五重奏のための4つの習作》を作曲しました。ヴィトマンは、リームが「私たちの素晴らしい楽器 [クラリネット] の本質を理解し、感じ取っていた」と述べています。

曲目：

ヴォルフガング・リーム クラリネット五重奏のための4つの習作

アンドラジュ・ゴロブ(クラリネット)

ハリー・ウォード(ヴァイオリン)

アンジェロ・デ・レオ(ヴァイオリン)

トビアス・ライフラント(ヴィオラ)

ソレーヌ・ケーマレック(チェロ)

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト クラリネット五重奏曲イ長調 K. 581

アンドラジュ・ゴロブ(クラリネット)

ハリー・ウォード(ヴァイオリン)

アンジェロ・デ・レオ(ヴァイオリン)

トビアス・ライフラント(ヴィオラ)

ソレーヌ・ケーマレック(チェロ)



リームのクラリネット五重奏のための4つの習作は、初めて聴くものです。ヴォルフガング・リームは今年逝去した現代作曲家です。おどろおどろしい出だしから、せかせかしたパッセージ、静かに流れるパッセージ、そして再びおどろおどろしい表情へと展開していきます。

モーツァルトのクラリネット五重奏曲イ長調は、お馴染みの曲です。クラリネットのふくよかで柔らかい音色と弦楽四重奏が絡み合って進行しますが、とりわけクラリネットの質感が魅力的です。

最近の音質対策は、スピーカーアキュライザーのマイナス端子に **Crystal Ep-Y** を接続したことで、現代曲からモーツァルトまで破綻を見せません。



以上